

掛川市議会 日本共産党だより

2018.8.27
第5号



〈発行〉
掛川市議会
日本共産党
掛川市長谷
1-1-1
〈連絡先〉
勝川しほこ
電話・FAX
22-1325
ご意見・ご
要望をお
寄せ下さい

原発再稼働の 周辺自治体 事前合意のあり方 について

再稼働に関する周辺自治体住民の意思の反映は

◆勝川 浜岡原発安全対策協議会理事会の席上、松井市長の提案で、安全協定についての学習会を行なっていくことが決まった。浜岡原発のいわゆる4市協定は、再稼働に関しての合意条項は明文化されていない。この勉強会の内容は。

◇市長 安全協定についての学習会は4市の事務レベルにおいて、茨城県の東海第二地域の新たに締結した安全協定の経緯や内容・背景・周辺への影響などについて調査・研究を行ない課題等を整理する勉強会である。

◆勝川 再稼働の事前合意を安全協定の中に位置づけるべきと考えるか、現段階でそれが担保されていると考えるのか。

◇市長 再稼働の事前合意の規定を協定書への明記も含めて検討が必要と考える。

◆勝川 現段階で再稼働の同意の範囲をどのように考えているか。掛川市は同意の範囲に入るか。

◇市長 **当然周辺4市への同意が必要。**原発から30キロ圏内のUPZ(緊急時防護措置を準備する区域)が原子力災害対策指針により示されたため、**UPZ圏内11市町の同意が必要ではないかと考える。**

◆勝川 市長として再稼働についての市民合意の取り方をどのように考えているのか。

◇市長 「万全の安全対策が終了し、将来にわたり安全、安心が確保され、国と中部電力が市民に対ししっかりと説明し、市民の理解が得られなければ再稼働できない」と考えている。市民や議会の意見が賛成や反対に大きく分かれた場合、**住民投票条例**を制定しているの**活用する方法**も考えている。

松井市長の イニシアチブを

◆勝川 首長の一番の仕事は、市民の命と安全を守ること。市長が防災について、しっかりと姿勢をもっていることを評価している。原子力規制委員会の安全適合審査を通っても、立地自治体合意だけでは再稼働はできなくなった東海第2原発のように、掛川市民の命と暮らしを守るため、私たち周辺自治体住民の再稼働合意が担保される協定が必要である。

現在この勉強会が事務局の御前崎市により決定していた日程が延期され、開催のメドがたっていない。

勝川議員は日本共産党掛川市委員会とともに勉強会の早期開催のため市として対応するよう、申し入れ書を提出している。

《浜岡原発31キロ圏内11市町が考える再稼働同意の範囲》

掛川市	31キロ圏内11市町
御前崎市	御前崎市
牧之原市	31キロ圏内11市町
菊川市	地元4市以上
磐田市	国が考えるべき
袋井市	31キロ圏内11市町
森町	31キロ圏内11市町
島田市	県内全市町
藤枝市	国が考えるべき
吉田町	31キロ圏内11市町
焼津市	国・県と協議必要

【東海第2原発の安全協定】

日本原子力発電が東海第2原発(茨城県東海村)について、同社と県、東海村、周辺5市は今年3月29日、再稼働の際は事前に周辺5市の了解を得るとする安全協定を結ぶことで合意しました。

周辺5市は原発から半径30キロ圏内に含まれる日立、ひたちなか、那珂、常陸太田、水戸の各市。

市長が小中学校・市立幼稚園の 普通教室へのエアコンの設置を表明しました！

8月の定例記者会見で松井市長が「エアコン設置推進本部会議」を設置し全庁あげて普通教室のエアコン設置の取り組むと表明。来年の6月をめどに全校一斉にエアコンを設置する計画です。

※勝川議員は昨年の9月定例会で小中学校の普通教室のエアコン設置を取り上げました。教室の温度調査の実態報告を求めたり、新日本婦人の会掛川支部が行なったエアコン設置要望書の提出に同行しました。

小中学校普通教室	378
市立幼稚園普通教室	27
計	405

子育て世代の願い にこえる 保育園待機 児童解消を

保育園待機児童数 県下ワースト2に

◆勝川 年度当初国定義46名と浜松市について県内ワースト2。認可保育所に入れなかったいわゆる潜在的待機児童は161名。子育て世代の願いであるこの解消は待ったなしの課題。来年度に向けての待機児童解消のため緊急施策及び、今後の掛川市の保育政策の中長期的展望は。

◇市長 施設整備としては来年4月の開園に向けて、大坂こども園を整備。すずかけっこ保育園で3〜5歳児90人の枠を広げる。企業主導型保育のお願いに企業訪問して複数の整備予定。全体で100人を超える定員の確保が見込まれる。

認可園の新設を

◆勝川 認可園の開設には時間がかかる。すぐに準備を。

◇市長 少なくとも2年程度かかるので、準備に怠りないように努力していく。3年後くらいの利用事業計画をつくる作業を進めている。財源をどう調整していくかということに関わるが、最重要課題だということ捉え方をして対応を進める。

制度的に不安な 企業主導型保育所

◆勝川 掛川でも企業主導型保育園が不備で4月に開園できなかった。認可外保育所である企業主導型保育所は、制度上認可保育所のように市が建設や運営に責任を持ち、保育を措置することはできない。認可保育園のような、行政による指導や地域要望を取り込む制度的保障もなく、**全国2400カ所に広がっているが、わずか39人で、1億円を超える整備補助が書類中心に、短期間で助成が審査されている。**この間立ち入りが入った事業所の7割で保育従事者の数の不足など監督基準違反が見つかっている。市は保育の質の確保の努力をしてほしい。